

キーワード：

日本ブックデザイン賞
ブックデザイン
ブックジャケット
グラフィックデザイン
秋山孝ポスター美術館長岡

日本ブックデザイン賞 2017 の一般公募に、自作品 5 点を出品し、一般部門／ブックデザイン・パブリッシング部門にて「銀の本賞」を受賞した。本学造形学部デジタル表現デザインコースの学生にも作品出品を促し、約 33 名の作品がエントリーした。また、バンコク大学ビジュアルコミュニケーションデザインコースの学生「バンコク大学が本学へ短期留学 (2017 年 5 月 8 日～5 月 26 日)」にも作品出品を促し、約 10 名の作品がエントリーした。

日本ブックデザイン賞 2017



日本ブックデザイン賞 2017 展

授賞式 2017 年 10 月 14 日 (土) 午後 2:30 ~
会 期 2017 年 10 月 8 日 (日) ~ 10 月 28 日 (土)
会 場 秋山孝ポスター美術館長岡 (APM)

今年作品募集は、ブックカバーと装画、ブックデザインの 3 つに分けた。さらにそれぞれにカテゴリーを 2 つ設けた。ブックカバーと装画は本の判型から、「四六判 部門」と「文庫判 部門」に、ブックデザインは「セルフパブリッシング部門」と「パブリッシング部門」に分けた。ブックカバーと装画の 4 種の部門には課題図書があり、そのブックカバーと装画をデザインし、印刷したもので応募する。

一般の部、学生の部ごと、また応募部門別に「金の装幀賞」「銀の装幀賞」「銅の装幀賞」の作品を選出し、さらに全ての「金の装幀賞」の中からグランプリ 1 点を選ばれる。

〈応募部門〉

- ・ブックジャケット・四六判 部門
課題図書から選んだ文学作品による
四六判書籍 (ハードカバー) のブックジャケット
サイズ: 天地 194mm × 左右 451mm (全面)
- ・ブックジャケット・文庫判 部門
課題図書から選んだ文学作品による
文庫判書籍 (ソフトカバー) のブックジャケット
サイズ: 天地 148mm × 左右 372mm (全面)
- ・装画・四六判 部門
課題図書から選んだ文学作品による
四六判書籍 (ハードカバー) の装画 (表 1)
サイズ: 天地 194mm × 左右 133mm
- ・装画・文庫判 部門
課題図書から選んだ文学作品による
四六判書籍 (ハードカバー) の装画
サイズ: 天地 148mm × 左右 105mm (表 1)
- ・ブックデザイン・セルフパブリッシング 部門
私家版やリトルプレスなど、企画・編集・制作の行程を自ら行った自己出版の本
サイズ: A 3 (297mm × 420mm) 以内
- ・ブックデザイン・パブリッシング 部門
出版社などから、既に商業出版している本
サイズ: A 3 (297mm × 420mm) 以内

〈課題図書〉

ブックジャケット・四六判部門、ブックジャケット・文庫判部門、装画・四六判部門／文庫判部門 共通

- ・日本文学
『走れメロス』太宰 治
『武士の娘』杉本 鉦子
- ・海外文学
『戦争と平和』トルストイ
『ロミオとジュリエット』
ウィリアム・シェイクスピア
- ・児童文学
『赤い靴』 ハンス・クリスチャン・アンデルセン
『赤い蠟燭と人魚』 小川 未明

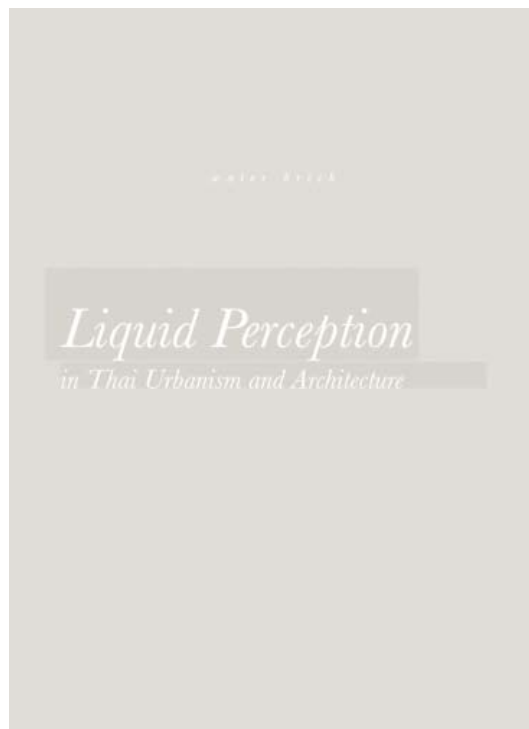
〈審査員〉

- 秋山 孝
Takashi Akiyama
多摩美術大学 教授
秋山孝ポスター美術館長岡 (APM) 館長
審査委員長
- 大迫 修三
Nobumitsu Oseko
日本グラフィックデザイナー協会 事務局長
- 太田 徹也
Tetsuya Ota
前 武蔵野美術大学、東京藝術大学 講師
グラフィックデザイナー
- 澤田 泰廣
Yasuhiro Sawada
多摩美術大学 教授
グラフィックデザイナー
- 竹内 オサム
Osamu Takeuchi
嵯峨芸術大学 准教授
グラフィックデザイナー
- 豊口 協
Kyo Toyoguchi
長岡造形大学 名誉教授
- 中垣 信夫
Nobuo Nakagaki
ミームデザイン学校代表

〈応募数〉

応募総計	552点
一般の部	139点
ブックジャケット・四六判部門	
ブックジャケット・文庫判部門	
装画・四六判部門	
装画・文庫判部門	
ブックデザイン・セルフパブリッシング部門	
ブックデザイン・パブリッシング部門	
学生の部	413点
ブックジャケット・四六判部門	
ブックジャケット・文庫判部門	
装画・四六判部門	
装画・文庫判部門	
ブックデザイン・セルフパブリッシング部門	
ブックデザイン・パブリッシング部門	

本学造形学部教員受賞・入選作品



〈銀の本賞〉

Liquid Perception in Thai Urbanism and Architecture

チラユ・ボンワルット

一般部門／ブックデザイン・パブリッシング部門

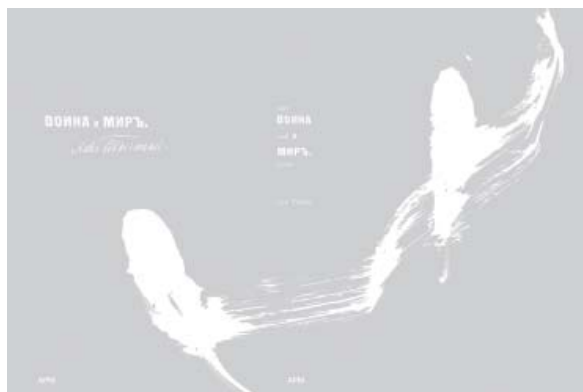


〈銅の本賞〉

merry-mj memo journal vol.1 キム・ミンジ

一般部門／ブックデザイン・セルフパブリッシング部門

〈ブックジャケット・四六判部門〉



『戦争と平和』
チラユ・ポンワルット

〈装画・四六判 部門〉



『走れメロス』
キム・ミンジ



『赤い靴』
チラユ・ポンワルット



『赤い蝋燭と人魚』
キム・ミンジ



〈ブックデザイン・セルフパブリッシング 部門〉



『merry-mj concertina book + postcard 5 set』
キム・ミンジ

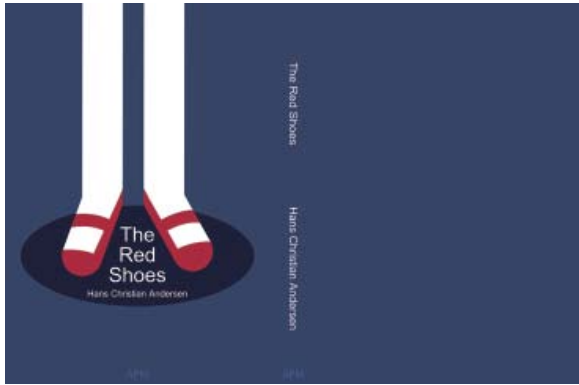


『戦争と平和』
チラユ・ポンワルット



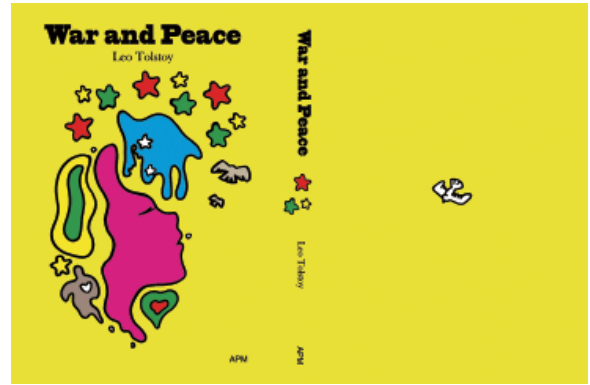
本学造形学部生入選作品

〈ブックジャケット・四六判 部門〉



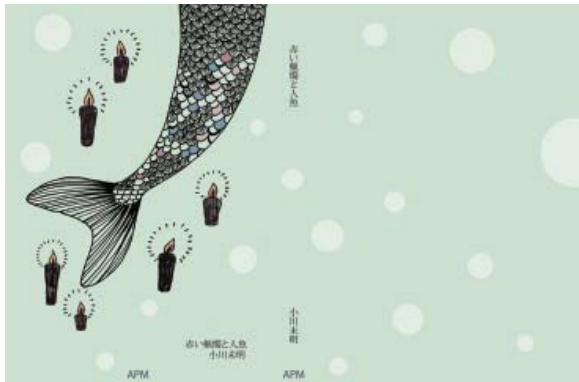
『赤い靴』綾部 晶

色数を少なくし印象的な赤い靴が目立つデザインにした。足のイラストは線の丸みや太さに意識しシンプルな図形でも少女であるように描いた。



『戦争と平和』江崎 琴美

愛をテーマに、帰りを待つ女性の横顔をイメージして作った。星は、戦争で亡くなった人達の魂や、無事に帰りを待つ人達の祈りの意味で使った。



『赤い蝋燭と人魚』綾部 晶

ろうそくに照らされる人魚の美しい鱗をイメージして制作した。読者に人魚はどんな感情なのか想像してほしいと思人魚の表情がわからないデザインにした。



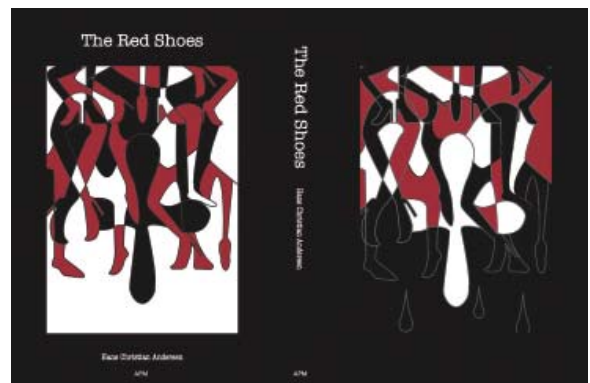
『赤い蝋燭と人魚』大石 実央

日本の童話なので、和風で落ち着いた雰囲気となるよう意識した。作中に登場する人魚の描いた蝋燭をシンプルにデザインし、全面に配置した。



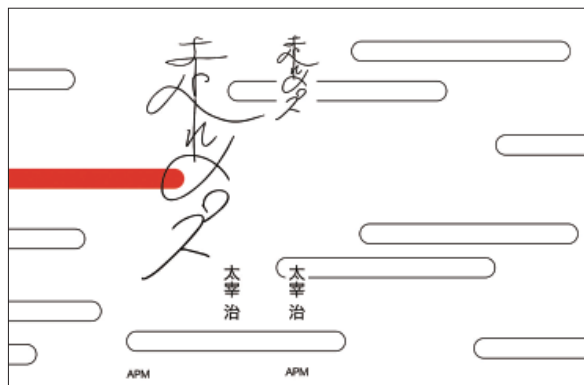
『戦争と平和』江崎 琴美

戦争をする人達をイメージして作った。カラフルな色合いに、図式化した言葉の兵器を組み合わせました。手書きの文字を使うことによって差別化を図った。



『赤い靴』杉山 果那

踊り続ける靴をイメージして描いた。真ん中には十字架が隠れており、物語にでてくる教会を表現。



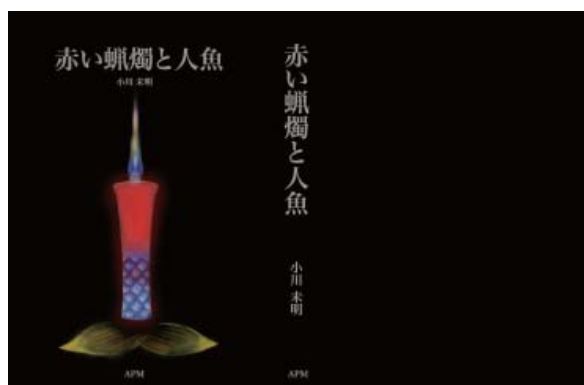
『走れメロス』 広沢 晴菜

メロスの韋駄天走りを、自由で勢いのある線と直線で表現した。また、赤い直線を中心部に置くことで、生命と正義、赤面した勇者を想起する工夫とした。



『赤い靴』 田上 晴菜

靴に翻弄される女の子のイメージがあったので足を女の子に見立てて描いた。シュールさを出すためシンプルにした。



『赤い蝋燭と人魚』 広沢 晴菜

身を削って作った赤い蝋燭は、まさに人魚そのもの。炎さえも人魚の感情となって燃え続けているのだろうと感じ、蝋燭と鱗を合わせたデザインを考えた。

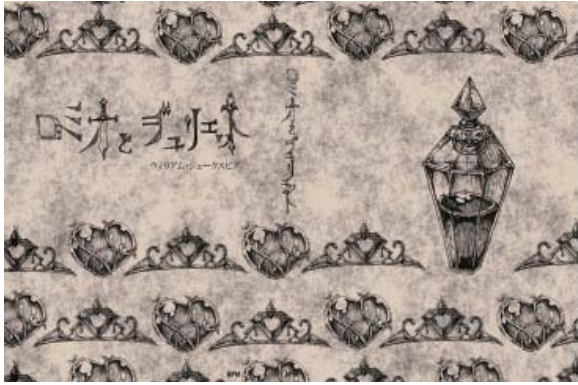


『赤い靴』 田上 晴菜

シンプルに赤い靴を見つめる女の子を描いた。赤い靴を目立たせたかったのでそれ以外は暗めの色にした。細かいものは足さなかった。



〈ブックジャケット・文庫判 部門〉



『ロミオとジュリエット』大石 光咲

ロミオとジュリエットは愛の皮肉を描いた作品なので愛を表すハートには蔦を、それを覆い隠すようにティアラを、最後の鍵となる謎の瓶を置いた。



『赤い靴』田中 香那

少し暗い話なので赤い背景と黒い足で不穏さを表現した。初見のインパクトを重視し、足と靴だけを描いた。



『走れメロス』香味 睦

主人公メロスが、自分の代わりに人質となった親友セリヌンティウスを助けるため、全力で村からシラクスへと走る情景を想像し、描いた。



『赤い蠟燭と人魚』田中 香那

蠟燭の影で人魚を描くことで、この赤い蠟燭が使われた時には彼の人魚がもうその場にはいないことを表現した。



『赤い靴』白井 美里

題名の赤い靴の「赤」を強調したいと思い色は赤、白だけにした。また、題名からは想像できない怖い結末だったのでその雰囲気を出そうとした。



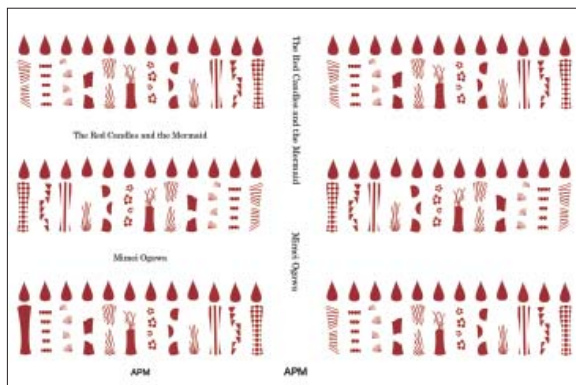
『赤い蠟燭と人魚』千頭和 萌

表紙で嵐の前の静けさを、裏表紙では海の底と人魚達の悲しみ黒い感情を表現した。実際に絵を描いた蠟燭を赤で塗りつぶすことにこだわった。



『ロミオとジュリエット』千頭和萌

物語の物寂しさと二人には天国で結ばれてほしいという希望を込めて背景を白にし、より白が強調されるようにその他はキーアイテムのみを描いた。



『赤い蝋燭と人魚』三浦 育美

数えきれないほどの蝋燭に、どんな思いで人魚の女の子は絵を描き続けたのか、想像しながら様々な模様と赤く塗りつぶした蝋燭をデザインした。



『赤い靴』丹羽 彩子

赤い靴が女の子にとっては悪意のない罠として現れ、苦しみに対しての懺悔が最後になって救われるという教会らしい時代背景を色中心にまとめた。



『赤い靴』渡邊 奈美

カバーを1枚のイラストとして見た時、不気味さが伝わるデザインにしようと考えた。赤が目立つように白黒をメインに表現した。



『赤い靴』増田 千聖

揺れ動きリボンに躍り続ける少女を見立てて描いた。暗めの背景でストーリーの雰囲気イメージした。足で少女だとわかるように華奢さを意識して描いた。



日本ブックデザイン賞 2017 展 文庫判

バンコク大学生入選作品

〈ブックジャケット・四六判 部門〉



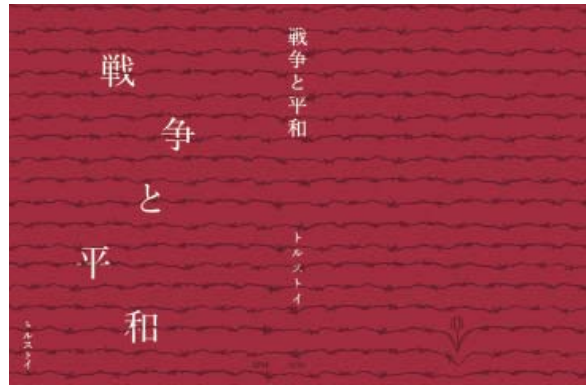
『戦争と平和』
ANDAMAN PANICH



『赤い靴』
NATTHAMON RIANKITCHAKARN



『戦争と平和』
ANDAMAN PANICH



『戦争と平和』
KORNRAWEE KAEWMOON